

猛暑に負けず海山に! 被災地を忘れずに



(左) 輪島への「のと里山海道」は至る所修理中 (中) 輪島教会解体跡(黒い小屋は仮礼拝所) (右) 白米しろよね 千枚田復旧の現状



(左) 七尾も輪島と同じく被災建物の解体に時間を要している (右) 空地に建物再建のめどが立たず花壇に。しかし多くは放置状態

千葉 YMCA ニュースボード

2025 年 8 月 1 日 第 309 号

<https://www.chibaymca.net/>

夏の活動・秋への備え

千葉 YMCA の今年度の活動が軌道に乗っています。

◆夏キャンプ次々と実施中

鴨川マリンキャンプ(終了)をかわきりに、7月中に3つのキャンプを実施しました。約150名の子どもたちがキャンプを通じて、自然や友達との交流を深めています。

その成果については次号でご報告します。

◆キャンプ指導者養成に協力

諸国間の YMCA 協力プログラム ICCPJ (キャンプ指導者養成)に参加して、千葉 YMCA は黄博妍さん(ニックネームあずさ)を受け入れました。黄さんは7月19日に来日、千葉市少年自然の家でのインターン活動を開始しました。日本語の堪能な、明るい女性です。

8月25日まで、千葉市少年自然の

家での活動に加え、キャンプに参加、アフタースクールの訪問、ユースリーダーとの交流などを行います。

◆ 船橋の小学校で障がい者理解・体験教室 車いすや視覚障がいを理解し体験する教室を、船橋市内の小学校で開催します。コロナで長く休止していました。再開の最初は9月18日(木)午前に高根東小学校で。手伝い希望者を募集中。

◆インターナショナル・チャリティーラン 11月8日開催

11月8日の開催に向けて、第3回実行委員会を行いました。実行委員となった13名の会員により、募集・広報・運営など楽しい大会を目指し、準備を進めています。

参加者の募集は8月開始、後日ご案内を送ります。是非、ご参加ください。(13名の実行委員は以下の通り。朝井悦郎、池田信成、石本貴洋、内田久昭、大垣正明、門井朗、小池正人、高田一彦、富田恵美子、谷沢悦也、長尾昌男、横一光、吉岡由見子以上敬称略)

◆能登の被災地は今

本紙編集子(青木)は縁あって7月半ば能登の被災地を訪ね、災害の爪痕、復興の現状を見聞してきました。その一端を上掲の写真でご報告します。

◆ワイズメンズクラブからお知らせ

9月13日船橋教会で、「赤ちゃんの命を守るプロジェクト」の講演会を開きます。賛育会病院が今春始めた内密出産とベビーバスケットの事業について、担当されている大江浩氏から直接詳細を伺います。午後1時、船橋市夏見6-6-6 船橋教会で。お申込みを。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家

chiba-shizen.jp 0475-35-1131

○千葉市立千城台みらい小学校アフタースクール 043-236-1701

○千葉市立千城台東小学校アフタースクール 043-237-7376

○千葉市立坂月小学校アフタースクール 043-236-5550

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール kkaoki@myad.jp